

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号 105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成</li> <li>・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成</li> <li>・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成</li> </ul>
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>生活支援（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>17：学校では、体罰の防止に努めている。</p> <p>18：学校では、心のアンケート等を行って児童生徒の話に耳を傾け、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめだよりや生活支援だよりを通じて、アンケートを実施していることや人権研修を行ったことなどを周知したことで、「あてはまる」が7～8割となったと思われる。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が安心して学校生活を送ることができる。</li> <li>・いじめの定義やいじめがあった際の対応の仕方を職員に対して周知し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの来校計画を立てるとともに、教育相談担当者がカウンセリングできる時間を確保し、授業に支障がないように時間割を工夫する。</li> <li>・いじめ防止委員会でいじめ対応フロー図を確認し、いじめがあった際には早急に組織で対応できるようにする。</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー事業や心のアンケート等を活用し、児童生徒や保護者の困り感を見逃さないようにする。</li> <li>・いじめについて全職員に周知し、個別で対応することなく、組織で対応することを徹底する。</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの記録や心のアンケートの結果を受け、対象児童生徒に対する支援内容の共通理解を図り、支援を行うことができたか。</li> <li>・フロー図のとおりいじめの対応ができ、いじめを認知した際には組織で対応することができたか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの記録や心のアンケートの結果を基に、対象児童生徒の職員に対して支援を依頼した。</li> <li>・いじめを認知した際に、管理職、生徒指導主事、該当担任を交えて組織で対応した。</li> </ul>
評価の視点	評価
①児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、配慮できたか。	A B C D
②児童生徒が抱える問題に対して組織で対応できたか。	A B C D
成果・課題	総合評価
<p>○スクールカウンセラーの記録を基に関係機関へ繋げたり、学年職員で情報共有を図ったりすることができた。</p> <p>○いじめを認知した際に、個人で対応することなく組織で対応できた。</p> <p>▲いじめの対応の仕方について、現行のフロー図では対応に当たらなければならない職員が多いため、工夫が必要。</p>	A B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県で実施することになっている心のアンケートを今後も継続する。</li> <li>・いじめ対応フロー図に、第一報を報告するまでの対応職員や流れについて明記しておく。</li> </ul>

学校関係者評価（令和6年2月27日実施）

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめを認知したときに組織対応ができていて良い。フロー図も工夫、改善していくとのことで、大変良いことである。</li> </ul>
-----------	---